第 44 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	なしじるブシャー
タイトル	ゆるキャラの経済学		
テーマ群	ｇ）その他		
メンバー	尼崎巧磨・岡本弥之・小笠原和紀・近藤大輝・玉山直輝・平田拓巳 福島圭吾・猶原萌・村田健介・最上健		
研究計画内容	今日、ゆるキャラはテレビだけでなく様々なところで活躍の場を広めていて、人気を博しています。そもそも、ゆるキャラとは「ゆるいキャラクター」の略称であり、「ゆるキャラには経済効果がある！」という話もあります。そこで私たちはゆるキャラには本当に経済効果があるのかをあらゆる点から調べました。ゆるキャラは主にその地域の特産品などを全国に広めるために使用されています。またゆるキャラとして認められる３つの条件が存在しています。１つめには郷土愛に満ち溢れた強いメッセージ性があること。 ２つめに立ち振る舞いが不安定かつユニークであること。３つめに愛すべきゆるさを持ち合わせていること。またこれに加えて原則として着ぐるみ化されていることです。ゆるキャラが有名になったのは「ひこにゃん」の出現からであり「ひこにゃん」は彦根城の築城４００周年の PR として用いられ、「ひこにゃん」の人気の爆発によって彦根城、彦根市の観光者数が急増し、同時に「ひこにゃん」はゆるキャラ人気の火付け役となりました。また、ゆるキャラには市や県に認められているいわゆる「公認キャラクター」と市や県に認められていない「非公認キャラクター」に分別されていて、また人気のあるゆるキャラの中にはそのキャラクターをモチーフとした商品が店頭に並んでいます。 どのような条件が満たされていれば人気のあるゆるキャラになり、商品化されたりするのか、またどれほどの経済効果が見込まれるのか、このような内容を含め盛りだくさんの発表になっていて、この発表を聞いてもらえれば、ゆるキャラについての知識が膨らむと思いますので、ゆるい気持ちで発表を聞いてください。		